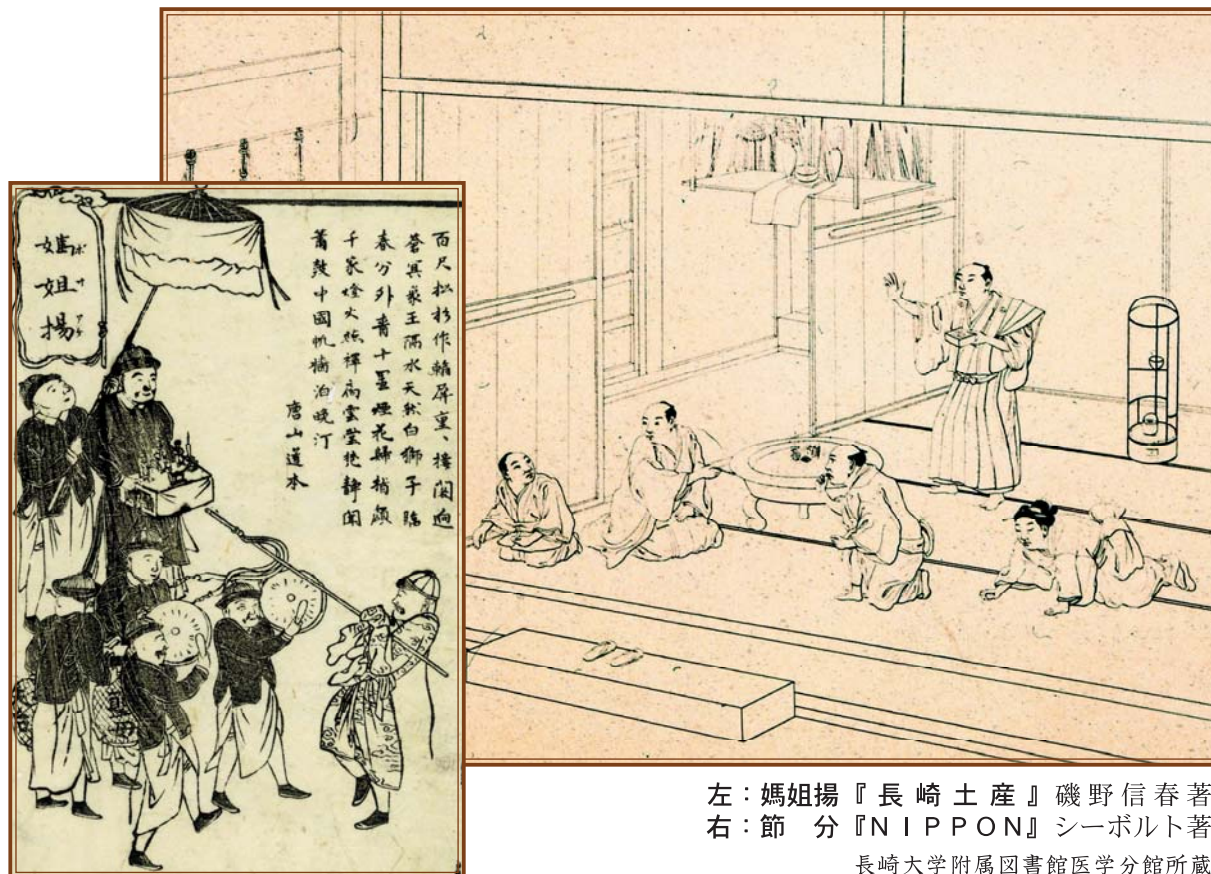


和華蘭(わからん)とは日本・中国(東洋)・オランダ(西洋)がミックスした長崎独特の文化様式を表現する言葉です。



左：媽姐揚『長崎土産』磯野信春著  
右：節分『NIPPON』シーボルト著  
長崎大学附属図書館医学分館所蔵

## 特集：100号記念 変わりゆく社会・変えていく図書館

この号の内容	掲載ページ
新しい時代の図書館づくりを目指して(館長 岡林 隆敏)	2
図書館報の目次でみる附属図書館の歴史	3, 4
古写真研究プロジェクト国際ワークショップを開催	5
教育著作権セミナー「教育現場におけるメディア活用と著作権」を開催	5
学生懇談会での意見・要望・アイデアに応えます	6, 7
平成18年度文教地区学生懇談会	8
グループ学習室をご利用ください(医学分館・経済学部分館)	9
教職員のみなさまへ 研究成果を集めています(機関リポジトリ)	10
先生方が書かれた本をいただきました 本学関係寄贈図書	11
情報スクランブル	12

# 新しい時代の図書館づくりを目指して

— 附属図書館報100号記念から次の200号に向けて —

館長 岡林 隆敏

## 1 第1号の図書館ニュースが発行された頃

附属図書館の館報は100号の節目を迎えました。創刊号は昭和44年（1969）10月15日に発行されています。今から38年前です。この頃、図書館は、学生プラザの西側、現在の大学教育機能開発センター事務室・研究室棟にありました。戦後の復旧が一段落し、長崎大学の整備統合計画が進められ、ようやく近代的な図書館の建設が間近になっている時期でした。

この頃日本は高度成長期を迎え、昭和36年から46年にかけて、水産学部、工学部、教育学部、環境科学部（旧教養部）、薬学部の建物が更新されます。そして昭和46年2月、一連の大学の建物の近代化計画の最後に、附属図書館が現在の場所に建築されています。

## 2 国立大学時代の附属図書館

その後、高度成長期には、大学の予算の増大に対応して蔵書数が増えていきました。経済学部分館が昭和47年5月に建て替わり、医学分館が昭和53年12月に建て替わりました。国立大学時代は、学生図書費は各学部の予算でまかなわれていましたので、自由に学生の要求を受け入れる体制はできていませんでした。国立大学の図書館全体が一つの組織であるかのように、全国一律の発展が続きました。

## 3 国立大学法人時代の附属図書館

附属図書館が大きく変化し始めたのは、長崎大学が国立大学法人化した平成16年4月以降のことです。

学生図書費が共通経費化され、学生と教員の要望に直接対応して学生用図書を購入することが可能になりました。また、全学部で学生懇談会を開催して、学生の意見を図書館の運営に反映させるようになりました。この結果、中央図書館、医学分館、経済学部分館にグループ学習室が設置されました。さらに、中央図書館と各分館では、貴重資料展示室が



公開され、市民がいつでも見学できるようになりました。

長崎大学では、薬学部、水産学部に続き、工学部、教育学部の改修が行われる計画です。図書館も南側に放送大学と合築中です。増築部分の2階フロアには全てパソコンを配置し、今年の5月以降に利用できるようになります。現在、文教キャンパスは、館報が創刊された38年前と同じように、改修ラッシュの中にあります。

## 4 新しい時代に向かう長崎大学附属図書館

21世紀を迎え、大学は独立法人として出発しました。この間、予想もできなかった進展は、インターネットの普及です。学術雑誌が電子ジャーナルに変わるなど、情報の流通方法は激変しました。Web2.0世代を迎え、さらに進展は続きます。一方、図書館の改善については、国立大学時代とは違い、文部科学省から一律の指導があるわけではありません。

長崎大学附属図書館の次の時代は、学生と教職員・図書館職員が共に育てる時代です。図書館運営の日々の積み重ねが、誰からも評価される図書館を育てます。図書館は次の200号に向けて、学生・教職員の皆様の意見を取り入れ、新しい時代の図書館を目指して成長・発展し続けたいと考えています。

## 図書館報の目次でみる 附属図書館の歴史① 1969～2000

通号	発行	館報目次	できごと
1	1969. 10	創刊のあいさつ	1969年10月、「長崎大学図書館ニュース」創刊
9	1971. 7	新図書館を開館して	1971年2月、現在の中央図書館が完成
13	1972. 8	追憶－経済学部分館－	1972年5月、現在の経済学部分館が完成
20	1976. 7	特報 閲覧業務をコンピュータで処理	1976年4月、貸出・返却・予約業務の電算化
27	1979. 1	新しい医学分館の紹介	1978年12月、現在の医学分館が竣工
33	1981. 4	JOISオンライン文献検索の開始について	1981年3月、医学分館に検索用端末機を設置
38	1984. 5	本館書庫の増築開始	1984年7月、図書館書庫完成
40	1985. 12	長崎大学附属図書館館報発行要領	この号より「図書館ニュース：長崎大学附属図書館報」に改名
49	1989. 5	日本古写真コレクションについて	1988年古写真コレクション第1期の購入
50	1989. 12	「日本古写真コレクション」を 学外で初公開	1989年11月、長崎県立美術博物館で開催の展示会に出品
53	1991. 6	「附属図書館所蔵古写真及び貴重図書展」 について	1991年2月、「中央館建設20周年」を記念して中央図書館で開催
56	1992. 2	学術情報センター ILLシステム 4月より運用開始!!	1992年4月、文献複写、相互貸借業務のオンラインによる全国ネットワークが稼動
58	1992. 10	特集 日本古写真コレクション ・日本古写真コレクション展示会開催について ・日本古写真コレクションの充実について	1991年度、古写真コレクション第2期購入。1992年10月～11月、公開講座『幕末明治古写真の世界』開講、併せて展示会開催
63	1994. 11	・MEDLINE の NUNET による全学への 情報検索サービス	1994年10月、医学分館からサービス開始
66	1995. 11	OPAC検索サービス開始	1995年9月、学内からの蔵書検索が可能に
〃	〃	甦るグラバー父子 ～附属図書館公開講座を終えて～	1995年9月～10月、附属図書館公開講座『甦るグラバー父子』を開講
〃	〃	巡回古写真展のご案内	1995年11月～1996年2月、京都大学、名古屋大学、東北大学、東京大学で巡回展示
69	1996. 11	所蔵資料紹介「幕末・明治期日本関係資料 集成」(平成7年度大型コレクション)	1995年度、古写真コレクション第3期の購入
71	1997. 6	新図書館システムについて	1997年2月、インターネットによるオンライン蔵書検索サービスを開始
72	1997. 11	よみがえる出島 ～附属図書館公開講座を終えて～	1997年10月～11月、附属図書館公開講座『出島人物誌：鎖国の窓の人間群像』を開講
74	1998. 6	附属図書館研究開発室スタート	1998年4月、附属図書館研究開発室発足
〃	〃	幕末・明治期日本古写真データベース公開	1998年6月、データベース公開記念式典
75	1998. 11	貴重資料案内：武藤文庫さらに充実	武藤博士子息から追加寄贈
〃	〃	一般市民等学外者への貸出継続実施へ	1998年10月、1997年10月から実施の一般市民への貸出の継続を決定
77	1999. 6	インターネットの海を泳ぐ グラバーの魚たち	1999年6月、グラバー図譜データベースをインターネット上に正式公開
〃	〃	古写真展「幻影長崎 －レンズに写った時代と街」を終えて	1998年度、古写真コレクション第4期購入。1999年5月、浜屋百貨店で古写真展
〃	〃	「幕末・明治期日本古写真コレクション」 の英文データベース公開について	1999年、古写真2,097点について解説等を英訳、英語版データベースとして公開
78	1999. 11	図書館ホームページから 電子ジャーナルが利用できます	1999年、図書館ホームページに電子ジャーナルリンク集を開設

## 図書館報の目次でみる 附属図書館の歴史② 2001～2006

通号	発行	館報目次	できごと
84	2001. 11	平成13年度前期実施 「図書館ガイダンス」結果報告	2001年度、「図書館ガイダンス」3コースを実施
〃	〃	電子ジャーナルの本格導入に向けて	2002年、電子ジャーナルの正式契約開始
〃	〃	情報コンセントルーム開設	2001年、中央図書館に情報コンセントルーム新設
86	2002. 8	図書館ガイダンス及び教養セミナー (資料収集ガイダンス) 実施報告	2002年度4月～6月、「教養セミナー(資料収集ガイダンス)」を実施
87	2002. 12	外部評価の実施	2002年11月、附属図書館の外部評価を実施
〃	〃	データベースの紹介に街へ出る ～「第4回ながさきITフェア」に参加出展～	2002年10月、JR長崎駅前「かもめ広場」のITフェア会場で古写真等のデータベースを紹介
89	2003. 7	学術研究情報コンテンツの整備について	2003年3月、「長崎大学における学術研究情報コンテンツの整備方策について(提言)」を報告
〃	〃	「幕末・明治期古写真超高精細画像 データベース」完成披露会報告	2002～2003年、501点の超高精細画像データベースを構築。2003年5月に完成披露会開催
90	2003. 11	県内大学図書館と公共図書館間で「資料 の相互利用・文献複写サービス」を開始!!	2003年7月、長崎県大学図書館協議会と長崎県公共図書館協議会の「相互協力に関するガイドライン」調印式
<b>* 2004年4月『国立大学法人 長崎大学』のスタート</b>			
92	2004. 8	中央図書館・経済学部分館の閲覧机更新	2004年3月、閲覧机等を更新
〃	〃	学生希望図書について	2004年度、学生希望図書制度を充実
〃	〃	携帯OPAC運用開始	2004年4月、携帯電話による図書館情報サービスを開始
〃	〃	図書館報の新ニックネームについて	公募により、この号から「和華蘭の窓」に決定
93	2004. 12	学生用図書の新しい収書方法について	2004年度、学生用図書の選書方法を大きく変更
〃	〃	貴重資料展示会「医学は長崎から」公開	2004年11月、医学分館で貴重資料展示会開催
〃	〃	近代医学史デジタルアーカイブス 「医学は長崎から」公開	2004年、医学分館貴重資料をデジタル化、展示会にあわせてインターネットで公開
〃	〃	企業支援図書コーナーの新設について	2004年度、企業の寄付による収書を開始
94	2005. 3	図書館における学生との懇談会報告	2003年11月、経済学部分館および医学分館で学生懇談会開催、2004年12月、中央図書館で学生懇談会開催
〃	〃	放送大学長崎学習センターとの利用協力	2005年3月、放送大学の学生にサービス開始
95 96	2006. 1	学生懇談会報告「図書館に何を求める？」	2005年10月～11月、文教地区の学部別学生懇談会を開催
〃	〃	<中央図書館>メディアサロンをよろしく	2005年11月、「メディアサロン」設置
〃	〃	3館合同展示会開催	2005年10月、貴重資料展示会3館同時開催
〃	〃	常設公開貴重資料展示室紹介	2005年6月、3館に常設展示室を開設
97	2006. 3	中央図書館⇄分館間図書配送サービス を始めます	2006年4月、図書配送サービスの開始
98	2006. 7	機関リポジトリってなに？	2005年度、「長崎大学学術研究成果リポジトリ」構築開始
〃	〃	古写真・グラバー図譜新データベース完成！	2006年6月、「幕末・明治期日本古写真メタデータ・データベース」及び「グラバー図譜メタデータ・データベース」の完成披露式、記者発表

\* 図書館報 1号～100号までは各図書館に備え付けてあります。

\* 81号からはWeb上でご覧になれます。 <http://www.lib.nagasaki-u.ac.jp/kanpo/index.html>

## 古写真研究プロジェクト国際ワークショップを開催

日時：平成18年11月22日(水) 10:00～12:30

会場：附属図書館 1階会議室

附属図書館では、2人の著名な外国人研究者を講演者として招き、長崎の歴史や古写真に詳しい方々にお集まりいただき、古写真研究の国際ワークショップを開催しました。

講演後には、参加者18名の間で、アジア最初の写真家は誰かなど、活発な質疑応答が交わされました。

附属図書館はまた、平成19年度に古写真研究の国際シンポジウムを計画しています。今回の国際ワークショップはそれに向けた布石としても大変有意義なものになりました。



### 講演① Terry Bennett氏 “Early Western Photographers in Nagasaki”

Bennett氏は日本古写真の世界的な収集家・研究家で、“Photography in Japan 1853-1912”という大著を上梓されたばかり。講演は、幕末から明治初期に長崎を訪れた外国人写真家達の足跡を、関係者の日誌や出身地に残る文書まで精査するなど、非常に丹念にたどった調査の報告でした。

### 講演② Brian Burke-Gaffney氏 “Early 20th-Century Picture Postcards: Nagasaki Then and Now”

Burke-Gaffney氏は長崎総合科学大学教授で、市内の書店でベストセラーとなった『華の長崎：アルバム長崎百年：秘蔵絵葉書コレクション』の著者。講演は、絵葉書に写る往時の長崎と現在の長崎を対比しながら、居留地に住んだ外国人の子孫との交流にまつわる話や、長崎の都市計画への提言も交えた内容でした。  
(学術情報管理班長)

## 教育著作権セミナー「教育現場におけるメディア活用と著作権」を開催

日時：平成18年12月1日(金)13:00～17:00

会場：総合教育研究棟 2階多目的ホール



メディア教育開発センターの尾崎史郎教授を講師に招き、同センターと共催で教育著作権セミナーを開催しました。前半は著作権の権利内容に関する講義、後半は著作権の制限例の解説で、最後に質疑応答がありました。

セミナーの内容及び資料は周到に準備され、受講者の職種にあわせたカスタマイズも行き届いていました。尾崎教授の講義は、豊富な事例に基づく実際的な内容で、資料として配付された『著作権法の概要』も、職場に戻った受講者が実際に著作権処理を迫られた場合に、判断指針として重宝するような内容となっています。

受講者は県内の大学及び附属学校の教員や図書館員及び学生の52名でしたが、3時間に及ぶ講義の後にもかかわらず、熱心な質疑応答が交わされ、著作権の問題が教育現場の様々な場面でいかに身近なものとなっているかが窺われました。  
(学術情報管理班長)

## 学生懇談会での意見・要望・アイデアに応えます

### 施設・設備関係

#### グループ学習室の新設・整備（経済学部分館・医学分館）

(⇒9ページに関連記事)

- ◆経済学部分館にグループ学習スペースができました。  
—————【平成18年12月実施】
- ◆医学分館のグループ学習室に間仕切りができ、2グループで使えるようになりました。—————【平成18年12月実施】

#### 空調装置の改善（経済学部分館）

- ◆経済学部分館のエアコンディショナーが取り替えられ、冷暖房効率が良くなります。—————【平成19年3月予定】

#### トイレ改修・多目的トイレの設置（経済学部分館）

- ◆経済学部分館のトイレが改修され、きれいで快適なトイレになりました。—————【平成18年11月実施】
- ◆経済学部分館に車椅子で入れる広い多目的トイレが新設されました。—————【平成18年11月実施】

#### パソコンの更新・増設（全館）

- ◆図書館内のパソコンが増えました。（中央図書館52台⇒70台、医学分館8台⇒22台、経済学部分館6台⇒10台）  
—————【平成18年3月実施】
- ◆Windows XP搭載のパソコンに更新し、USBメモリ等が使えるようになりました。—————【平成18年3月実施】
- ◆パソコンからオンラインでプリンターに印刷できる方式に変更します。（有料）—————【平成19年4月予定】

#### AV機器の更新・充実・マニュアル作成（中央図書館・医学分館）

- ◆中央図書館にAVコーナー（二人用席）を増設し、DVD・VHS視聴用の機器を薄型液晶テレビとDVD・VHS一体型プレーヤーに更新しました。—————【平成19年2月実施】
- ◆医学分館開架閲覧室にビデオコーナー（専用棚）を設け、閲覧機器類も各階に設置しました。—————【平成18年3月実施】
- ◆医学分館で、ビデオの利用方法についての案内を作成しました。  
—————【平成18年4月実施】

#### ロッカーの設置（中央図書館）

- ◆書庫利用時に手荷物を入れるロッカーを設置します。  
—————【平成19年4月予定】

#### 閲覧席の増設（中央図書館）

- ◆放送大学と合築中の新校舎2階が図書館の閲覧スペースになります。—————【平成19年5月予定】



経済学部分館グループ学習スペース



経済学部分館トイレ入り口



新しくなったパソコン



中央図書館AVコーナー

## 平成18年2月以降の対応状況（平成19年2月現在・抜粋）

### 資料関係

#### 学生用図書の充実（全館）

- ◆シラバス掲載図書の購入冊数を増やしました。（1冊⇒2冊）  
—————【平成18年度より実施】
- ◆リクエストですぐに購入される図書の点数を、年度内1人3点から5点に変更します。—————【平成19年度実施予定】
- ◆医学分館の学生用図書の最新版への更新・教科書の充実を行いました。—————【平成18年度実施】
- ◆医学分館の開架閲覧室から、古い医学書を撤収し、新版を重点的に購入します。—————【準備中】
- ◆保健学科系の図書を充実しました。—————【平成18年度実施】
- ◆中央図書館で、研究室資料の利用申し込みがあった図書を学生用図書として購入します。—————【受入中】



新着図書(中央図書館)



新着DVD(中央図書館)

#### AV資料の充実（中央図書館・経済学部分館）

- ◆中央図書館で、映画・ドキュメンタリー・音楽などのDVDソフトを約200本購入します。—————【受入中】
- ◆経済学部分館で語学関係DVD、洋画DVDを購入しました。—————【平成18年9月実施】

#### 電子ジャーナルの充実（医学分館）

- ◆メディカルオンラインの提供を開始しました。—————【平成18年5月実施】

### サービス関係

#### 開館日・開館時間の拡大（中央図書館・経済学部分館）

- ◆開館日・開館時間を拡大しました。—————【平成18年4月より実施】
- ＊経済学部分館の平日（休業期を除く）の閉館時間を繰り下げ：午後9時45分⇒午後10時15分
- ＊中央図書館の平日の開館時間を繰り上げ：午前9時⇒午前8時40分
- ＊中央図書館で休業期の土曜・日曜・祝日の開館を実施。開館時間：午前10時～午後5時

#### 資料の利用方法を改善（全館）

- ◆中央図書館の書庫内図書の貸出手続きを、利用者の手書きから職員の機械入力に変更しました。———【平成18年3月より実施】
- ◆中央図書館・医学分館・経済学部分館の間で図書配送サービスを始めました。—————【平成18年4月より実施】

#### Web・携帯電話によるサービス（全館）

- ◆Web・携帯電話からの予約サービスを開始しました。  
—————【平成18年11月より実施】



附属図書館では今後も学生の皆様のご要望に真剣に取り組んでいきます

# 平成18年度文教地区学生懇談会

文教地区では、各学部の先生方により、各学部の附属図書館に関する学生懇談会およびアンケートが実施されました。

それを受けて、平成18年12月12日（火）、各学部代表の学生さん9名に中央図書館会議室にお集まりいただき、平成18年度文教地区学生懇談会を開催しました。昨年度に引き続き、長澤多代先生（大学教育機能開発センター）の司会により、主に中央図書館について、自由な意見を交換していただきました。

当日は岡林館長と、附属図書館文教地区委員協議会の勝俣委員長が立ち会い、学生さんの意見・要望を直接聞きました。

## 主なご意見・ご要望

**\*学部学生懇談会、アンケートで出たものを一部含みます**

### 図書館の施設・設備等について

- 1) バリアフリーを意識した構造にしてほしい。
- 2) 試験期間中は座席が足りないので増やしてほしい。（一人用のキャレルなど）
- 3) 照明を明るくしてほしい。（書庫・階段・窓際のキャレル）
- 4) パソコンの数を増やしてほしい。
- 5) グループ学習室にパソコンがほしい。
- 6) 書庫に入るときに手荷物を入れるためのロッカーを設置してほしい。
- 7) 開館時間中は最後まで冷暖房を入れてほしい。

### 開館時間について

- 8) 土・日曜の開館時間を延長してほしい。（18時～19時ごろまで）
- 9) 朝は授業開始時間前の8時ごろから開館してほしい。



- 10) 平日の夜は深夜まで開館してほしい。可能であれば24時間開館が望ましい。

### 資料について

- 11) 専門書が古い、少ない。新しいものを購入してほしい。
- 12) 専門雑誌等やフルテキストが閲覧できる電子ジャーナルを増やしてほしい。
- 13) 就職活動に役立つ本を揃えてほしい。
- 14) 小説・物語・エッセイ・ベストセラー本などを充実してほしい。
- 15) 音楽CDや映画のDVDを充実してほしい。
- 16) リクエストの冊数上限を廃止してほしい。

### 広報・企画について

- 17) 種々のお知らせを各学部掲示板にも掲示してほしい。（新サービス、臨時休館など）
- 18) 生協のテーブルやパンフレット架などに案内をおいてはどうか。
- 19) 新入生時だけでなく、学習が進んだ段階でガイダンスを実施してほしい。編入者向けにもガイダンスを実施してほしい
- 20) 月ごとのテーマ展示などがあるとよい。

## 学部学生懇談会

学 部	日 程	参加者（回答者）	担当教員
教育学部	10月31日(火)	学生10名, 教員5名	勝俣 隆 教授
工学部	10月31日(火)	学生7名, 教員2名	林 秀千人 教授
環境科学部	10月30日(月)	学生6名, 教員1名	杉山 和一 助教授
薬学部	アンケート実施	(学生31名 *)	中村 純三 教授
水産学部	アンケート実施	(学生107名)	橋本 惇 教授

\*薬学部の回答者数は意見の記入があったもののみ



# グループ学習室をご利用ください!

## 医学分館 <1度に2グループの利用が可能になりました>

医学分館では学生懇談会等での、学生の皆さんからの強いご要望を受けて、12月中旬にグループ学習室の分割工事を行いました。仕切りを設けて、1度に2つのグループが学習できる環境を再整備いたしました。それぞれの部屋の収容人数はLが10名、Sが5名程度となっています。また各部屋に情報コンセントも設置いたしました。利用時間は1グループ2時間まで、予約が入っていない場合には延長も可能です。グループでの学習、またはディスカッションに是非ご利用ください。

ご利用希望の場合は、これまで同様、カウンターでのお申込をお願いいたします。

**予約も受け付けています。たくさんの方のご利用をお待ちしています!!**



<Lサイズ(収容人数 約10名)>



<Sサイズ(収容人数 約5名)>

## 経済学部分館 <グループ学習スペースを設置しました>

経済学部分館では、このたび新たに2階にグループ学習スペースを設置しました。例年の学生懇談会で、皆さまからご要望が多かった事項をまたひとつ実現することができました。

ゼミの開催、ゼミでの発表の予行練習や事前学習、レポート・卒業論文の作成の際に、図書館の資料を手許において討論をしながらご利用いただけます。

また、グループ学習活動が行われていない時には、通常の自由閲覧室として利用できます。

電源、ホワイトボード、スクリーン、ハブも備え、パソコンを持ち込んでの活用も可能です。

ご利用の際には、カウンターまでお申し込みください。



教員のみなさまへ

# 研究成果を集めています

長崎大学では、学内で生産された学術研究成果を保存・発信するシステム **学術研究成果リポジトリ** を構築しています

※ 機関リポジトリについては、館報98号にも簡単なお案内を載せています

**NA**  **SITE**

## 長崎大学学術研究成果リポジトリ

<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/>

- ◆ 学術研究成果を一元的に収集・蓄積し、大切に保存します
- ◆ 学術研究成果を世界中へ効果的に発信します

みなさまの学術研究成果を、より多くの人へ届けます

発表済み論文原稿などの研究成果を**Eメール**でお送りください 

電子的公開について出版者に問い合わせた上で、リポジトリに登録いたします

研究成果 エルピー **dspace@lb.nagasaki-u.ac.jp**  
送付先

…「長崎大学の知」の蓄積にご協力ください…

附属図書館 学術コンテンツ担当

Tel : 095-819-2195 Fax : 095-819-2196

E-mail : iss@lb.nagasaki-u.ac.jp

説明会を実施しています

機関リポジトリについて、ご希望に応じて説明に参ります。お気軽にお尋ねください



## 長崎大学の先生方が書かれた本をいただきました (平成18年10月～平成18年12月分)

### 岡林 隆敏 教授 【工学部】

- 上海航路の時代:大正・昭和初期の長崎と上海/岡林隆敏編著—長崎文献社, 2006. 10  
[中央図書館 219.3 | O36 1514396]  
[医学分館 219.3 | O36 2133953]

### 谷村 賢治 教授 【環境科学部】

- 環境知を育む:長崎発の環境教育/谷村賢治, 齋藤寛編著—税務経理協会, 2006. 4  
[経済学部分館 519 | Ta88 3159461]

### 戸田 清 助教授 【環境科学部】

- クルマが鉄道を滅ぼした:ビッグスリーの犯罪/ブラッドフォード・C. スネル著;戸田清 [ほか] 訳—緑風出版, 2006. 12  
[中央図書館 685.253 | Sm9 1515043]

### 笠原 俊彦 教授 【経済学部】

- 企業の営利と倫理 : M. ヴェーバー研究 / 笠原俊彦著—税務経理協会, 2003. 11  
[経済学部分館 331.5 | Ka71 3159380]

今後とも、お書きになりました図書のご惠贈をお願いします

## 古写真データベースの累積アクセスが100万件を突破！

附属図書館が提供する「幕末・明治期日本古写真データベース」と「幕末明治期日本古写真超高精細画像データベース」へのアクセス件数が、平成10年10月からの累積で100万件を突破しました。両データベースとも、日本語版のほかに英語版も提供しており、国内のみならず、海外からのアクセスが多いのが特徴です。

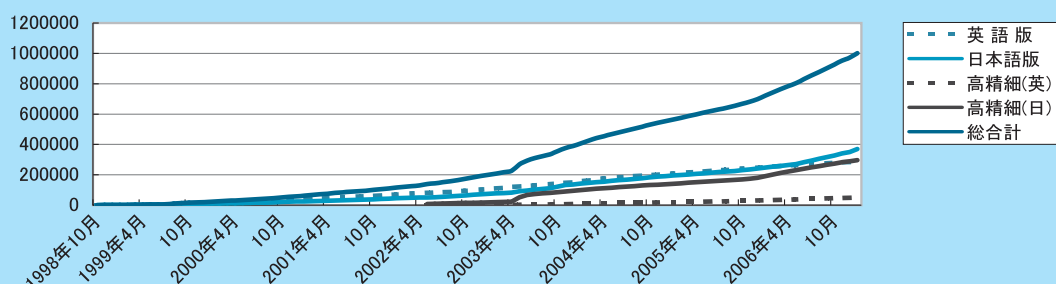


幕末・明治期日本古写真データベース (日本語版)  
<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/jp/>



幕末明治期日本古写真超高精細画像データベース  
<http://zoomphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/>

### 幕末・明治期日本古写真データベース・ホームページへの累積アクセス数



## ●情報スクラップル●

### 中央図書館からのお知らせ

DVDやVTR視聴用のテレビと機器が新しくなりました。  
音質や画質が向上し、使い方も簡単です。  
2人用席も増設しました。  
今後は、映画などのDVDソフトも増えていく予定です。  
どうぞご期待ください！

### 2階AVコーナーが充実！



### 医学分館からのお知らせ

昭和25年度医学部卒業生の小寺健次郎氏より寄贈していただいた2枚の絵を、医学分館1Fロビーに展示しています。これらの絵は小寺氏が当館所蔵の幕末の医学生達の写真を基に描かれたもので、内1枚の絵には医学部の創設者であるポンベの姿も見られます。

### 経済学部分館からのお知らせ

○経済学部分館では、トイレの改修に続いて、2階にグループ学習スペースを設置しました。これからもさらに利用しやすい学習環境を提供していきます。詳しくは、本文をご覧ください。  
○経済学部分館では、3月1日より現在の午前9:00からの開館時間を、午前8:40からに20分間早く開館することにいたします。これまで以上に図書館をご利用ください。



先生を囲んで明るいグループ学習スペースで実施されるゼミの風景

携帯電話から各種サービスをご利用いただけます。ご活用ください！  
☆蔵書検索☆自分が借りている本の確認☆図書の予約☆お知らせetc  
図書館HP（携帯電話版）：<http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/i/>



和華蘭の窓 長崎大学附属図書館報 No.100 2007年(平成19年)2月28日発行

編集責任者 長崎大学附属図書館広報WG総合責任者 学術情報部学術情報サービス課長 能村浩次  
館報編集担当 志波原智美・松山 晶・森石みどり・浦さやか・松田 綾・山本知美  
発行 長崎大学附属図書館 〒852-8521 長崎市文教町 1-14 (095)819-2193(総務担当)  
附属図書館ホームページアドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/>  
図書館報アドレス <http://www.lb.nagasaki-u.ac.jp/kanpo/>